

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
剰余金の配当基準日 3月31日  
定時株主総会 毎年6月下旬  
単元株式数 100株  
株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵送物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 * トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社及び株式会社みずほ銀行の本店及び全国各支店	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公 告 方 法 電子公告 (<https://www.furukawadenchi.co.jp/>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

○上場株式配当等の支払に関する通知書について  
同封の配当金計算書は、租税特別措置法の規定に基づく支払通知書をかねております。  
証券口座での配当金受取りをご指定の株主様の場合、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われますので、確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社へご確認ください。

## HOMEPAGEのご紹介

当社ホームページではIR情報をはじめとする、さまざまな情報をタイムリーにお届けしております。ぜひご覧ください。



<https://www.furukawadenchi.co.jp/>

古河電池株式会社  
〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川二丁目4番1号  
TEL : (045) 336-5034

**FB** 古河電池株式会社

# 第89期 株主通信

2023年4月1日から2024年3月31日まで

# 株主の皆様へ／事業の概況

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第89期（自2023年4月1日 至2024年3月31日）の事業概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、ロシア・ウクライナ戦争の影響によるエネルギーコストの高騰、イスラエル・ハマス戦争による世界情勢の不安定化に加え、中国の不動産市場の低迷や欧米の金融引締めによる景気の下振れリスク等により先行き不透明な状況にあります。

我が国経済においても、中国経済の先行き懸念や世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の減速が景気の下振れリスクとなっている他、原材料価格やエネルギーコストの高騰等により先行き不透明な状況が続いております。

蓄電池業界においては、自動車分野はカーボンニュートラルに向けた再生可能エネルギーの利用拡大、世界的な自動車の電動化・自動化・サービス化といった業界の構造変化が進ん

でおり、産業分野は再生可能エネルギー関連市場やデータセンター向け、スマートグリッド向け等の需要が拡大しております。先行きについては、原材料やエネルギーコストの高騰により、自動車・産業ともに厳しい状況となる事が想定されます。

当社グループにおいては、SDGsの目標達成に貢献するグローバル戦略の推進、基幹事業である鉛電池での収益向上、次世代電池を含む新製品開発と新しいソリューションビジネスの立上げ、サステナブル経営のための人材育成による革新力の蓄積を推進してまいりました。

当社グループの売上高は前期比5,917百万円（8.5%）増加し75,455百万円となりました。これは、主に自動車向けの販売が堅調に推移した事によります。このうち海外売上高は28,696百万円となり、売上高全体の38.0%となりました。

損益面につきましては、営業利益は主な原材料である鉛等の価格やエネルギーコストが高騰したものの、国内外での販売が堅調に推移した事により前期比1,333百万円増加し3,233

百万円（前期は営業利益1,900百万円）、経常利益は前期比1,223百万円増加し3,417百万円（前期は経常利益2,193百万円）となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比1,777百万円増加し2,574百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益797百万円）となりました。

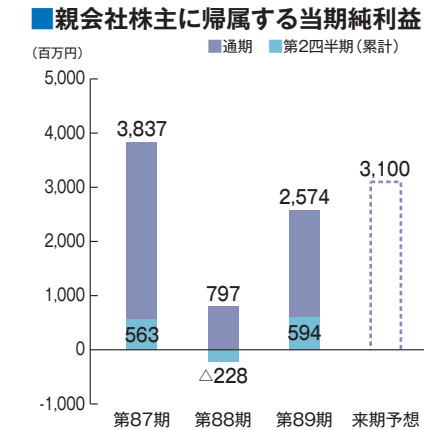
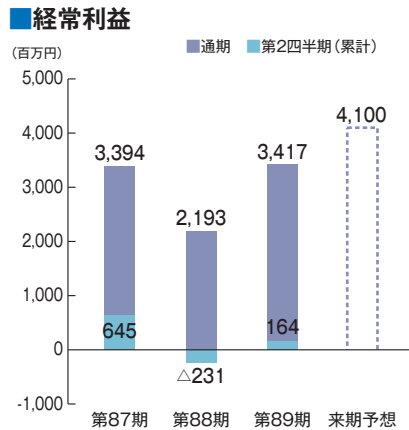
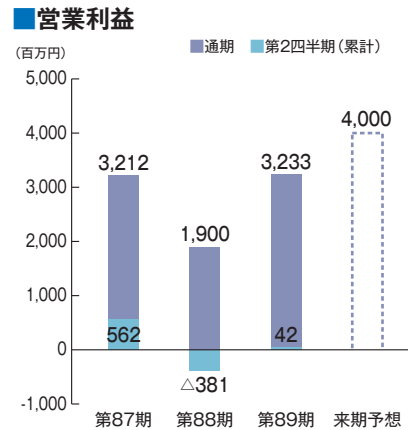
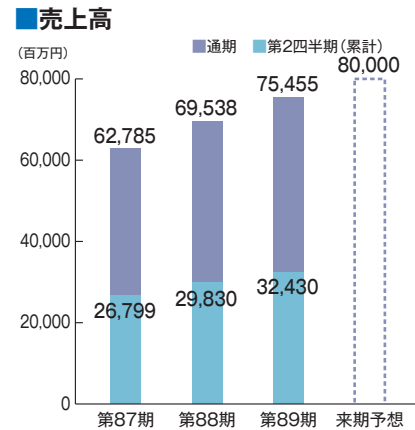
当社は、配当を継続的に行い、株主の皆様へ利益還元することを基本方針としており、当期の期末配当金につきましては、1株につき21円といたしました。

当社グループでは引き続き、総力を結集して事業の拡大及び利益の増大を目指してまいりますので、ご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

2024年6月



代表取締役社長  
黒田 修



5月29日公開  
決算説明会動画はこちら



## 日本初の月面着陸に成功！ 小型月着陸実証機「SLIM」に古河電池製リチウムイオン電池が搭載

日本初の月面着陸に成功した小型月着陸実証機「SLIM」に古河電池が開発・製造した宇宙用リチウムイオン電池が搭載されました。「SLIM」の目的の1つである電源システムの軽量化を実現するため、従来よりも大幅な軽量化と宇宙空間という極限の環境下に対応する耐久性を実現したステンレスラミネート型リチウムイオン電池を開発しました。

古河電池は、約60年にわたって宇宙用電池の開発に携わり、小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」などの搭載実績を有しています。高い信頼性が求められる宇宙向け用途で培ってきた技術力・品質・ノウハウを活かし、今後も持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



SLIM用ステンレスラミネート型  
リチウムイオン電池

## 関電工、古河電工、古河電池がバイポーラ型鉛蓄電池の性能確認試験を開始

古河電気工業と古河電池は、再生可能エネルギーの有効活用に向けて、低コスト・安全性・省スペース性・リサイクル性を備えた電力貯蔵用蓄電池であるバイポーラ型鉛蓄電池の社会実装を目指して開発を進めています。その一環として、関電工及び古河電工と共同で性能確認試験を実施しています。



バイポーラ型鉛蓄電池

試験場所：関電工技術研究所  
試験日程：2023年4月から2年間を予定

### 評価項目

【特性】 【動作状況】 【安全性】  
【保守メンテナンス性】

## アミューズワンセルフ製国産ドローン「GLOW.L」に古河電池製リチウムイオン電池搭載

古河電池が製造・販売するリチウムイオン電池が株式会社アミューズワンセルフの国産ドローン「GLOW.L」に搭載されました。リチウムイオン電池（12Sラミネート形）は、高出カラミネート形のドローン用電池パックで、電池残量や電圧など電池の状態を機体に通信できるインテリジェント機能が付いており、充実した保護機能を備えた信頼性重視の設計となっています。今後も古河電池は、安全性・信頼性を兼ね備えながら、お客様ニーズに合わせた製品開発を着実に進めてまいります。



ドローン用リチウムイオン電池  
12Sラミネート形

## 古河電池 ESG/SDGsの取組み

### 健康経営

古河電池は、「社員の健康が基盤である」という考えのもと、健康経営の実現に向け、社員一人ひとりが能力を最大限発揮しながら、安心して働き続けられる職場の実現を目指しています。今後も誰もがいきいきと働き、挑戦し続けられる社会の実現を目指します。



### 脱炭素社会実現への貢献

古河電池は、脱炭素社会実現への貢献をマテリアリティ（重要課題）の1つに掲げ、温室効果ガス（GHG）排出量\*の削減を目標にしています。2024年度から従来の目標値よりさらに厳しい方向にシフトさせ、「2030年度における国内事業場のGHG排出量の削減目標を2021年度比42%減」を新たに設定しました。具体的な取り組みとして、日本国内の全生産拠点へ太陽光発電設備の設置を完了させ、海外拠点への設置も進めています。また、サステナビリティ目標の達成状況を条件とするサステナビリティ・リンク・ローン（SLL）を活用するなど、事業を通じた持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。

※事業活動における温室効果ガス排出量（Scope1、2）



太陽光発電設備導入  
いわき事業所（福島県いわき市）



太陽光発電設備導入  
SIAM FURUKAWA CO.,LTD.（タイ）

# 会社情報

## 会社の概況 (2024年3月31日現在)

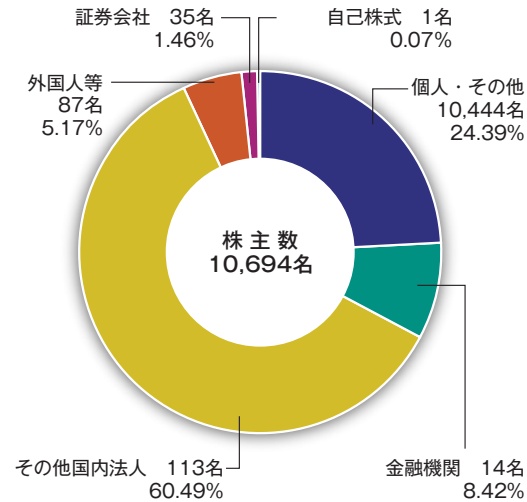
商号	古河電池株式会社 (The Furukawa Battery Co.,Ltd.)	主要事業	鉛蓄電池 自動車用、二輪車用、電動三・四輪車用、 鉄道車両用、航空機用、船舶用、産業用、 産業用太陽光発電システムなど
本社	横浜市保土ヶ谷区星川二丁目4番1号	アルカリ蓄電池	事務機器・OA機器用、計測機器用、UPS用、 防災機器用、航空機用など
設立	1950年9月1日	リチウムイオン電池	ドローン用、ロボット用、人工衛星用など
資本金	1,640百万円	電源装置	直流電源装置、無停電電源装置など
従業員数	1,090名(単体)	その他	コンバーター、バッテリーチャージャー、 バッテリーテスター、電気工事、 電気通信工事など

## 株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	32,800,000株
株主数	10,694名
大株主	

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
古河電気工業株式会社	187,812	57.30
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	15,881	4.85
古河電池取引先持株会	5,526	1.69
株式会社日本カスト ディ銀行(信託口)	4,748	1.45
MSIP CLIENT SECURITIES	3,799	1.16
朝日生命保険相互会社	3,520	1.07
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	2,500	0.76

### ◆所有者別分布状況



(注) 持株比率は自己株式(22,332株)を控除して計算しております。

## 取締役、監査役及び執行役員 (2024年6月26日現在)

代表取締役社長	黒田 修
取締役専務執行役員	河合 哲也
取締役常務執行役員	千葉 徹
取締役常務執行役員	田口 仁
取締役常務執行役員	清水 信明
取締役(社外)	江口 直也
取締役(社外)	飯村 北
取締役(社外)	佐藤 達郎
取締役	高木 啓史
監査役(常勤)	上村 高敏
監査役(社外)	小川 幸伸
監査役(社外)	木川真希子
常務執行役員	井出 雅之
上席執行役員	山本 敏郎
執行役員	樋上 俊哉
執行役員	比佐 壮
執行役員	鈴木 孝光
執行役員	蛭田 友喜
執行役員	吉田 賀一
執行役員	外崎 直人

## 主要拠点 (2024年6月26日現在)

<b>国内営業拠点</b>	
当社	全国10拠点
販売会社	古河電池販売(株) 全国6拠点 新潟古河バッテリー(株)
<b>国内生産拠点</b>	
当社	今市事業所 (栃木県日光市) いわき事業所 (福島県いわき市) 富山工場 (富山県富山市)
<b>海外拠点</b>	
	SIAM FURUKAWA CO.,LTD. (タイ) SIAM FURUKAWA TRADING CO.,LTD. (タイ) PT.FURUKAWA INDOMOBIL BATTERY MANUFACTURING (インドネシア) PT.FURUKAWA INDOMOBIL BATTERY SALES (インドネシア)
<b>その他</b>	
第一技研工業(株)	(栃木県宇都宮市)
HDホールディングス(株)	(東京都品川区)



富山工場



PT. FURUKAWA INDOMOBIL BATTERY MANUFACTURING